平和 暮らし 健康 介護
みんなの健康
安心のネットワーク

発　行
郡山医療生活協同組合
郡山市島2-9-18
TEL 024-923-6212 FAX 024-923-6921
発行責任者　橋本恭司

2014年3月31日現在
- 組合員数……27,751名
- 出資金……892,399千円
- 1組合員平均……32,517円

郡山医療生協ホームページアドレス
http://www.koriyama-h-coop.or.jp/

2013年度 郡山医療生協運動のまとめ

まつりの成功で病院増改築運動にはずみ

桑野協立病院増改築を成功させるため、建設委員会を立ち上げ準備がすすめられました。建設委員会は、組合員・職員が協同で平面図の検討をワークショップ形式でおこない、他病院の見学や広報活動を展開して建設運動を担いました。

昨年の10月27日に開催された「夢をかたちに 増改築まつり」には、青森保健生協、庄内医療生協、富山医療生協からの参加、全国から福島支援の物産展への協賛等もあり、1,200名の参加で成功しました。増改築まつりの成功をステップに1億円を超える増資運動、3年連続となる4桁の仲間ふやし運動が実現しました。

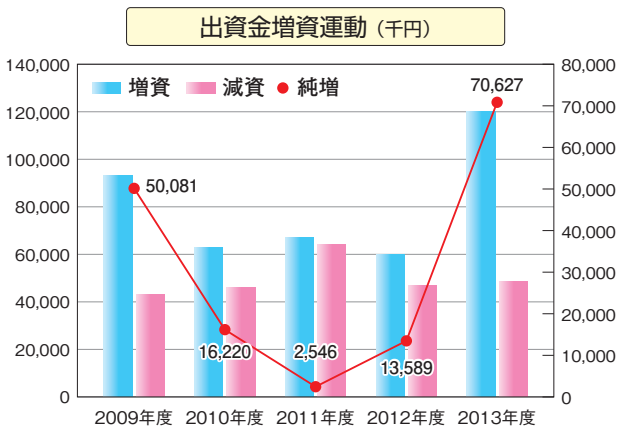
まつりのオープニングを飾った勇壮な「小町夢太鼓」（小野町）

協同の力で大きな峰へ

まつりフィナーレ　風船に思いを乗せて大空へ

増資運動では史上初1億円を突破

出資金増資運動は、119,090千円の到達となり、郡山医療生協史上初めて、年間で1億円を超えました。目標75,000千円に対して158.8%の超過達成となり、減資が48,463千円ありましたが、純増で70,627千円でした。



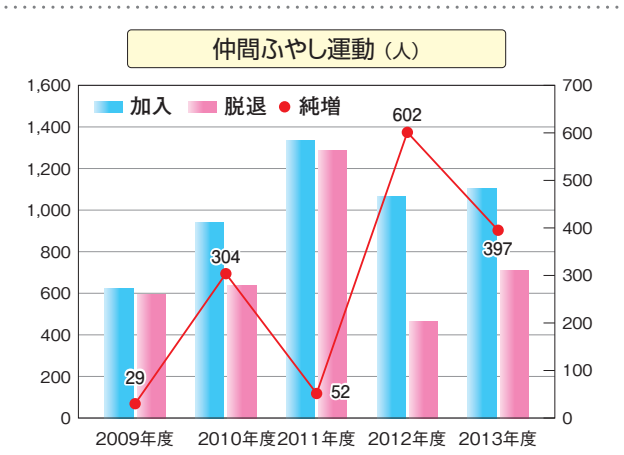
班活動機関紙「みんなの健康」の手配り数

班会は、年間690回の開催となりました。参加人数ものべ5,200人で昨年比124%となりました。

また機関紙配布部数は13,587部となり、手配り率60.7%となりました。

「仲間ふやし」3年連続千人突破

医療生協の仲間ふやし（組合員ふやし）は、目標1,250人に対して1,106人（88.5%）の到達となりました。目標の達成には至りませんでしたが、3年連続で4桁の仲間ふやしとなり、大きな峰を築くことができました。



活動の輪が広がって

2つの支部が誕生 助けあい活動の輪広がる

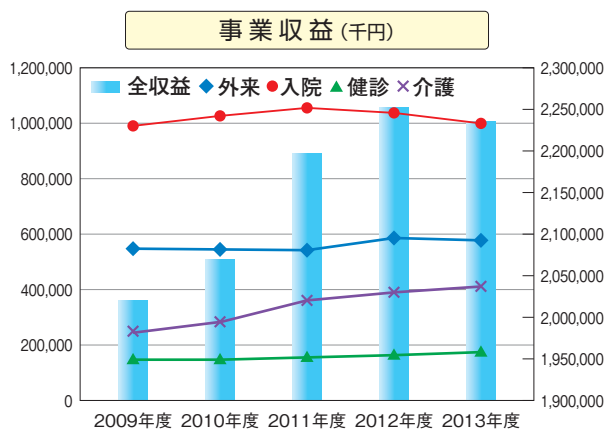
新しく「さくら支部」（郡山市）と「矢吹支部」（矢吹町）が結成され、医療生協の活動拠点がつくられました。ミニデイやサロン活動が各地でとりくまれ（1支部、すぎな支部、とみた支部、大槻支部、郡山東支部、小野支部、白河支部）、また、小野支部のミニデイ「お元気クラブ」は、2014年度から小野町の委託事業となりました。

核害に立ち向かう運動

- FTF（ファーストトラック・ファイバー）を1,129名が受けました。（2013年1月～12月）
- 食品放射能検査を361検体実施しました。（2013年2月～2014年1月）
- 空間放射能測定は、毎月11日を一斉測定日として各地でとりくまれました。
- 甲状腺エコー検査を開始しました。
- 放射能汚染に立ち向かう「市民科学者養成講座」を5回シリーズで実施しました。
- 借上げ住宅避難者の支援活動にとりくみました。

事業活動

- 事業収益は、病院の外来と入院収益が減収、健康診断と介護事業収益が増収となり、年間経常剰余金はマイナス27,767千円となりました。



- 病院の待ち時間対策と広報の為に、昨年10月からデジタルサイネージ（電子公告板）を活用しています。医療情報、診療案内などの独自番組も放映しています。
- 地域連携室では、桑野協立病院に紹介された医療機関数69件（一昨年比160%）、外来患者数384件（一昨年比106%）、入院患者数85件（一昨年比119%）と増加しています。
- 桑野協立病院は、今年の3月に「強化型在宅療養支援病院」の許可を受けました。訪問診療を受ける患者さんが、今まで以上に安心して在宅で療養生活を送れるように、緊急時の連絡体制・在宅での看取りの連携体制などが強化されました。

いよいよ増改築スタート!

組合員センターから工事がはじまります

外部環境の変化を踏まえて、計画案の検討を進めてきました。

建設委員会を中心に、増改築の意見を集約するワークショップや他の医療機関の見学、増改築まつりと、病院増改築のための様々な取り組みを行ってきました。病棟については、2つの急性期病棟と療養病棟の3病棟編成とすることで検討を進めてきました。しかし、昨年末に成立した「社会保障改革推進プログラム法」（通称）の成立と、この具体化を進める2014年診療報酬改定は、「2015年度末までに36万床ある急性期病床を9万床削減する」と報道されたように、病院の機能分化を名目に“患者追い出し”を強引に進める内容のもので、桑野協立病院の病棟のあり方にも大きな影響を与えるものでした。また、アベノミクス、震災復興、東京オリンピック開催決定などの要因によって、建築費の高騰という変化も現れ、病棟機能の再検討と投資額の圧縮を迫られることとなりました。

10月着工をめざして、急ピッチで作業を進めています。

組合員センター北側増築計画がまとまり、病院増改築計画の見直しを急ピッチで進めています。計画の内容及び前回総代会以降の変更点は以下のとおりです。

①老朽化した設備の更新と健診、内視鏡等の検査部門の拡充は当初案通り進めます。

②病棟は、入院患者の実態と制度改定への対応を踏まえ3つの病棟に再編成します。

・急性期に対応する病棟…健診後の精密検査や急性疾患、外科・整形外科・眼科の手術への対応

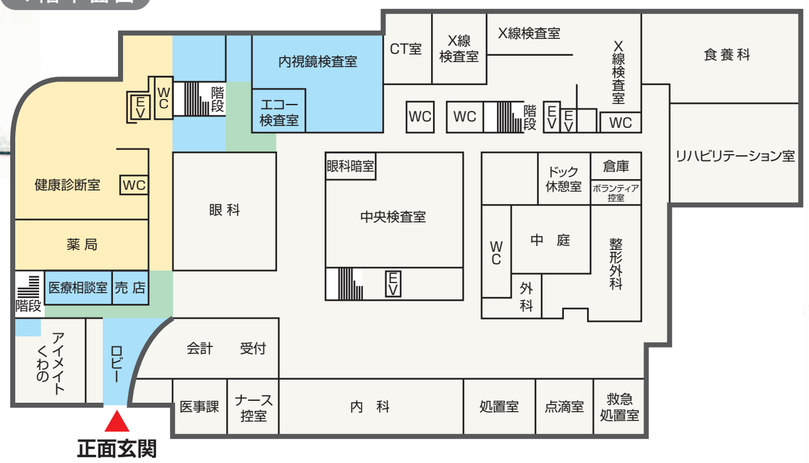
・回復期に対応する病棟…急性期後のリハビリ、慢性疾患及び在宅療養患者急性増悪期への対応

・療養期に対応する病棟…症状が安定した方の長期入院への対応

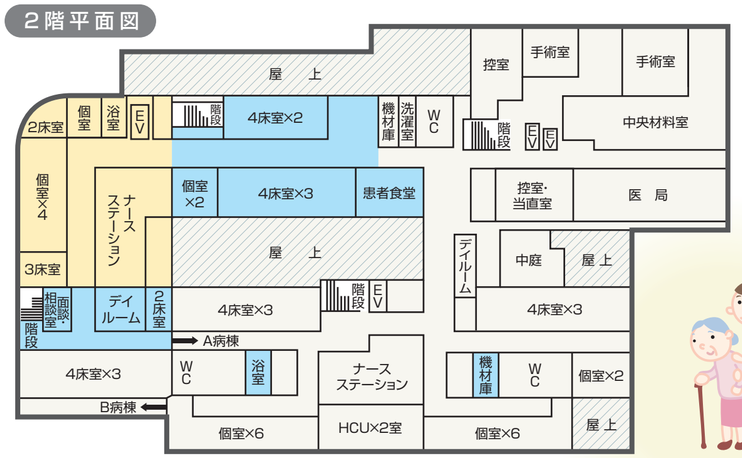
③3階病棟西側の増築面積を減らし、投資額の削減を図りました。

10月着工を目標に、施工業者の選定と図面の検討を進めています。

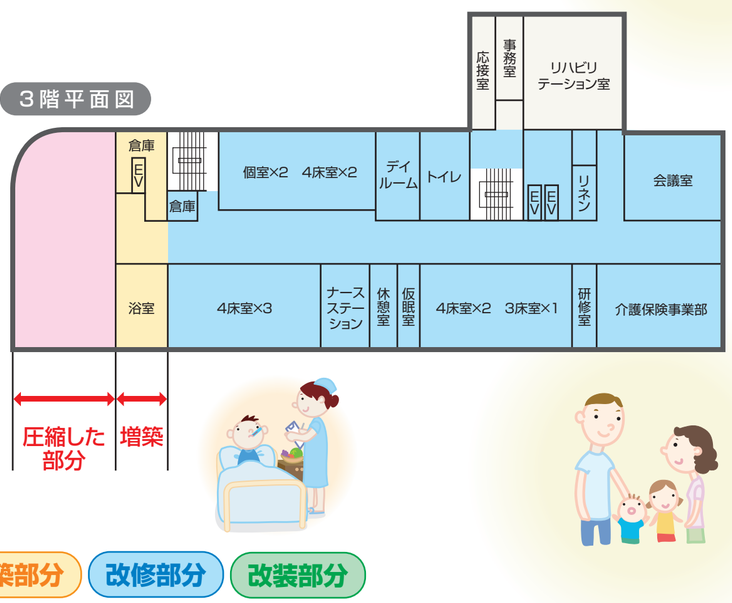
1階平面図



2階平面図



3階平面図



増築部分　改修部分　改装部分

6月16日 地鎮祭

組合員センター北側増築が始まります

6月16日に地鎮祭を行い、組合員センター北側の増築工事が始まります。組合員センターの北側増築は、「組合員活動で使用する多目的ホールの設置」「老朽化した管理棟からの総務部の移設」を目的に実施されます。病院の増改築に先駆けて着工するのは、「病院増改築を進めるための一時的な移動場所（会議室と介護保険事業所）」として使用するためです。当初在来工法で建設の予定でしたが、投資額を圧縮するためプレハブ工法に変更し再検討を行ってきました。工事期間中は、通所リハビリの出入りは現在の多目的ホールを入口に、組織部への出入りは西側出入り口をご利用いただくことになります。また、大型の重機を使用することもあり、病院敷地内の出入りにもご不便をおかけ致しますが、ご協力をお願いいたします。

建物概要

建築面積	138.97㎡
延床面積	277.94㎡
用途	1階 多目的ホール 2階 総務部及び倉庫

地域で安心して住み続けられるための「サービス付き高齢者向け住宅」事業を検討中です

「小規模多機能居宅介護ひなたぼっこ」や「グループホームひなたぼっこ」をオープンしてから3年が経過しました。

この「ひなたぼっこ」の介護事業で、認知症になっても地域で暮らし続けることができるサービス提供に一歩踏み出しました。しかし、組合員から要望が大きかった「ショートステイ」の開設は実現できませんでした。

医療生協のケアマネジャーの調査では、一人暮らしや高齢夫婦世帯が多くなっているという結果がでました。さらにショートステイについても、希望通りには利用できない現実があります。

組合員のみなさんからは、自宅で暮らし続けたいが不安が大きく、「安心して生活できる住宅がほしい」という要望があります。また、入院している患者さんやご家族からは退院するとき一旦入所したり、特別養護老人ホーム入所待機の間使えるサービスがほしいという要望もあります。

これらの要望に応え、新しい拠点として「サービス付き高齢者向け住宅」、「デイサービス」「定期巡回随時対応型訪問介護看護事業」などを検討しています。地域住民も参加・交流できる文字通り医療生協版「地域包括ケア」のモデルをつくりたいという構想です。

イメージ図

笑顔でつながる医療生協の輪

―3つの事業的挑戦。2ヶ年計画の仕上げ。活動の5本柱―

3つの事業的挑戦

(1)桑野協立病院増改築工事を成功させます。
(2)新たな事業として、サービス付き高齢者住宅事業の検討をすすめ、介護事業を拡大させます。
(3)小野支部が取り組む行政からの委託事業を成功させるとともに、各支部のたまり場づくりやミニデイサービス等を一層広げます。

医療生協の健康づくりと助け合い活動を各地域で広げましょう

「ロコモ」予防で健康づくり

組合員と専門家の協同の力で、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）、認知症、メタボリックシンドロームの予防活動を大きく展開し、「健康寿命」を延ばすとりくみを広げましょう。

明るく楽しくミニデイサービス

地域のたまり場づくり、ミニデイサービス等の助け合い活動で、いつまでも住み続けられるまちづくりを医療生協の力で実現していきましょう。

思いをかたちにする仲間増やし運動と夢を支える出資金増資運動

桑野協立病院の増改築がいよいよ始まります。組合員の輪を広げ、確かな土台となる仲間ふやしと増資運動をすすめましょう。

仲間ふやしは、昨年度到達を上回る1,394人を。

増資運動は、昨年度実績の大きな流れを維持し、2ヶ年計画の目標を大きく上回るようとりくみを広げていきましょう。

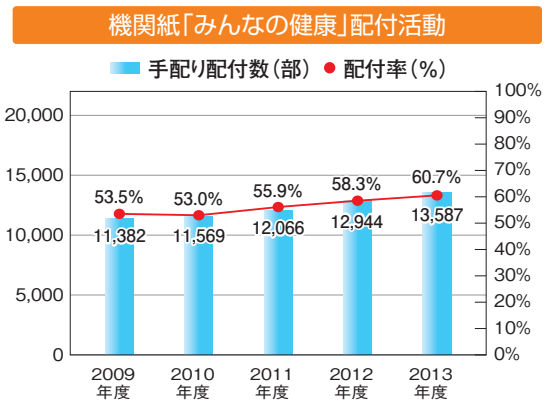
昨年度実績	今年度目標（案）
1,108人	1,394人

昨年度実績	今年度目標（案）
119,090千円	79,000千円

医療生協の機関紙「みんなの健康」でつながる組合員の輪

手配り配付率80％以上を目指しましょう。（現到達60.7％）。機関紙は、組合員同士をつなげる医療生協の血液です。声かけや安否確認などで一人ぼっちの組合員をなくす運動を広げましょう。

機関紙「みんなの健康」配付活動



医療生協の事業を支える「出資・利用・運営」の輪を広げましょう

医師や看護師をはじめとしたスタッフ確保に協力し、健康診断推進運動に積極的にとりくみましょう。病院増改築運動を成功させるため、ボランティア活動などにも参加しましょう。

「核害」からくらしと健康を守り原発ゼロの福島を実現しましょう

原発事故から4年目の今こそ、あらためて、自分たちの手で、空間放射能測定、食品放射能測定、FTFの活用をすすめましょう。また、福島県内の原発10基廃炉を実現し、子どもたちが安心して暮らせる福島をとりもどしましょう。